

第2回「医療機関および社会福祉施設の事業継続計画（BCP）ワークショップ」を開催しました（2019/2/8）

テーマ：熊本地震、病院、社会福祉施設、事業継続計画（BCP）

場所：肥後銀行熊本駅前支店（熊本県熊本市西区）

URL：<http://www.maruya-laboratory.jp/bcm-bcp-advice?>

2019年2月8日(金)9時30分から16時まで、東北大学災害科学国際研究所丸谷研究室と熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター藤見研究室の共同主催、公益財団法人地方経済総合研究所の協力により、第2回「医療機関および社会福祉施設の事業継続計画（BCP）ワークショップ」を、熊本市の肥後銀行熊本駅前支店2階セミナールームで開催しました。本件は当研究所の他大学等との共同研究助成制度を活用したもので、昨年10月25日の第1回ワークショップに続くものです。また、参加者の募集については、熊本県庁にご協力いただきました。

当日は、熊本の病院や社会福祉施設の11団体から16名、BCPくまもと研究会から1名の合計17名の方にご参加いただき、当研究所の丸谷浩明教授（人間・社会対応研究部門）、熊本大学の藤見俊夫准教授、熊本大学大学院生命科学研究部の前田ひとみ教授、当研究所の寅屋敷哲也助教（人間・社会対応研究部門）の4名が講師として、講義及びグループ討議を行いました。

当日は、午前から午後（昼食を挟んで）にかけて、第1回ワークショップの宿題とした各医療機関等のBCPの簡易版の一部を参加団体から発表いただきました。発表のポイントを①連絡先リストに記載した事業者の種類・数など、②重要業務の継続に不可欠なリソースをどう確保するか、③BCP策定や見直しに関して心配な点・難しかった点とし、丸谷教授、藤見准教授、前田教授、寅屋敷助教が発表に対して質問や助言を行いました。続いて、丸谷教授が「事業継続計画（BCP）の拡充・改善の方法」の講義と参加者が提出した宿題のBCPを踏まえた助言の総括も説明しました。次に、4班に分かれて「BCPの簡易訓練（演習）」として、①事業継続のために連絡すべき重要な関係先、②支援要請が必要な場合についてグループで意見交換を行い、最後に、1月3日に発生した熊本の地震に関する情報提供を行いました。参加者からは、熊本での病院等のBCPの策定には、継続的な地域での取組の必要性を指摘する声がありました。



参加者によるBCPの発表



参加者の発表に対するコメントの様子



講演（丸谷教授）



BCPの簡易訓練（演習）